

三鷹武蔵野

三鷹市と防災協定

ナマズへの登録も進める



協定書に署名する金子委員長

【三鷹武蔵野・書記・三鷹市】8月5日、東京三鷹市、馬場副市長をはじめ、震災等の災害時における応急対策業務に関する協定書(防災協定)を締結しました。

三鷹市からは、河村市長、馬場副市長をはじめ4人が出席、三鷹武蔵野

締結は都内38自治体に

憲法53条で衆議院が参議院いずれかの総議員の4分の1以上の要求があれば、内閣は国会召集を決定しなければならぬと定めています。7月31日に野党が131人の賛同議員の名簿が添えられた「臨時国会開会要求書」を衆議院議長に提出しました。憲法に定める条件は満たしています。政府は一向に臨時国会を召集しようとはしません。

今月の主張

臨時国会ただちに開け

6%を大きく上回っています。コロナ感染症対策や自然災害対策を議論するために多くの国民が臨時国会の開会を望んでいます。しかしその一方、新型コロナウイルス

た上で、党に提出するとしています。安倍首相も連続在職日数が歴代最長記録を塗り替えた8月24日、デフレ脱却、少子高齢化問題、戦後日本外交の総決算とともに憲法改正を政策

課題として言及し、「新しい時代を作っていく、そのための挑戦を続けていきたい」と話しています。多くの国民がコロナ禍や自然災害で苦しんでいる中で、臨時国会を召集せずに、コロナ禍を盾にとって、緊急事態条項を盛り込んだ憲法改正を画策することは許されません。憲法に緊急事態の定めがなくても、感染症対策を実施することは可能で

方が一の際に役立てるよう「NAMAZU」を中心にした」と述べました。今回の協定により、災害時に、倒壊建物からの救助活動や、建物の応急修繕、障害物の撤去などを組合として協力していきます。三鷹武蔵野支部では、まちの救助隊チーム「NAMAZU」を中心に、まちの防災・減災に向けた取り組みを進めており、災害時に力を発揮できるように多くの仲間登録を進めていきます。

世田谷 コロナを共に乗り越える 建防協で区に寄付



訪れた建防協の役員と。左から4人目が保坂・世田谷区長

【世田谷・書記・児玉奈輔記】新型コロナウイルスの感染拡大が続き、私たちの生活、経済活動に深刻な影響を与えています。世田谷区では感染防止策として地元の医師会など協力し、P

8月7日に建防協をはじめ6団体の会長で世田谷区役所を訪れ、激励と寄付金の贈呈を行ない、保坂区長からは「地域業界の支援は大変ありがたく大きな励みになります。寄付金はしっかりとコロナ対策に活用させていただきます」と、御礼の言葉をいただきました。その後、コロナ禍における区の対策と建設業



子ども連れの若い夫婦も署名に応じてくれました

核禁条約発効も後押し 国際署名151筆

練馬

8月9日、午前10時半から正午までの1時間半、ヒバクシャ国際署名推進委員会(以下、連絡会)では75年前の長崎への原爆投下の日を契機として、練馬区議などが次々にスピーチを行ないました。スピーチの合間に、ドーンズ(ポーカー)は練馬支部の三角真弓さんの音楽が入り、通行する人々の注目を集めました。行動前の打ち合わせの時は、「目標50筆」などと声があがっていましたが、100人近い行動参加者の迫力とドーンズの音楽の効果は大きく、3倍の151筆の署名が寄せられました。

最愛の妻失って 足立支部の桐田さん



忠子さんの遺影を胸前に抱える桐田喜朗さん

仏壇に飾られた忠子さんの遺影の前で手を合わせる足立支部の桐田喜朗さん(83歳)。最愛の妻を失った悲しみが横顔ににじみます。5年前に悪性リンパ腫で治療を受けた忠子さんは、「腰が痛い」としばしば訴えるよ

うになりました。足立区内の博慈記念総合病院で診察を受けると再発の疑いを指摘され、台東区の永寿総合病院を紹介、3月21日に同病院に入院することになりました。同じ時期に同病院で新型コロナウイルスの院内感染が発生、面会も制限されるようになります。「息子の嫁が面会できただけで、入院後、私は妻に会うことができず、永遠の別れとなりました」と無念そうに話す喜朗さん。4月21日に突然、新型コロナウイルス感染症での死亡連絡がありました。息子の説明もなく、1週間後に遺骨と遺品のごく一部が届けられました。「悪性リンパ

「文書回答はいただきませんが、私はまだ納得できません。担当の先生自身の言葉で、妻の亡くなった経過について詳しく話してもらいたい。息子と永寿病院を訪ねることにしています」と喜朗さんは話していました。